

日立アプライアンス（株）多賀事業所の IoT 活用について見学してきました。

平成 29 年 9 月 27 日（水）に、第 34 回スーパーヒットクラブを開催し、20 名の参加者が、日立アプライアンス（株）多賀事業所を見学しました。日立アプライアンス（株）多賀事業所は日立の家電製品の発祥の工場であり、現在は、洗濯機・クリーナー、IH キッキングヒーターなどのオール電化や LED 照明などの製品を扱っている地域を代表する企業です。特に、IoT の活用により、作業時間の 3 割削減を実現した製造現場を見学し、生産性向上には IoT の導入が不可欠であり、その重要性を学ぶことができました。

1 日立アプライアンス（株）多賀事業所の沿革について

説明：総務課 黒羽祐路氏 氏



1939 年 4 月（株）日立製作所多賀工場として設立され、2006 年 4 月日立アプライアンス（株）多賀事業所が設立されました。約 40ha の敷地にはクリーナーや洗濯機などの家電品の生産工場が立ち並んでいます。栃木や青梅の国内事業所のほか、中国、タイにも工場があります。

2 クリーナー、洗濯機製造ラインにおける IoT の活用について

説明：製造部担当部長 上野和昭 氏



IoT を活用し、生産工程の自動化や、省力化を積極的に進めています。作業員の動きや部品の流れは、画像やセンサーで掌握され、生産管理モニターなどにより「見える化」されています。



セル方式による生産ライン：多様化するニーズに対応した多品種少量生産を実施 ※日立アプライアンス（株）会社紹介から抜粋